

Title	経済的反動の趨向
Sub Title	
Author	気賀, 勘重
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.1 (1919. 1) ,p.85- 112
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190101-0085

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

の消費者をして不利の地位に陥らしめざるを得ざるなり。然らば聯合諸國は内國に於ける國民生活上の利害に顧みて、獨逸と貿易上の關係を絶つに、何等躊躇するものなきを得るや、一個の疑問とす可し。而して前記經濟的報復の一條件として、聯合諸國は獨逸に自由貿易を強制す可しと云ふ。之を強制するは、獨逸をして聯合諸國の爲めに、其市場を開放し、諸國の物資の獨逸市場に入るを便ならしむるの目的に出づるものなる可しと雖も、斯く獨逸に諸國の物資の輸入せられたる場合に獨逸は何を以て之を決濟せんとするや、其自國物資の輸出を以てせざる可からざるは、當然の數にして、此點より云はんか、第一と第二の個條は明に矛盾せりとす可く、第一と第五の個條亦矛盾せざるを得ず、講和に關する經濟上の諸問題が經濟學上の理論を離れ、一片の感情に支配せられつゝあるは、吾人の遺憾とする所なり。

經濟的反動の趨向

氣 賀 勘 重

歐洲大戰の結果として異常の好景氣の我が産業界に現れし以來戦後の反動を警むるの聲は常に朝野の識者に依りて唱へられ、好景氣の氣運愈々熾にして警戒の聲益々高きを致せるは我が財界兩三年の實狀なりき。曰く急激なる事業の膨脹を抑制して戦後に對する事業の基礎を確定するに務む可し。曰く一時の景氣に眩惑せられて無謀の事業擴張を企つること勿れと。然かも戦亂は意外に久しきに亘りて繼續し、識者の杞憂せる反動は容易に現はれずして景氣は益々昂進し、無謀なる冒險的企業家多くは成功して慎重なる者却つて其後に墮着たるの實あるに及び、事業の新設擴張は好景氣に伴ふ利潤の増進と共に益々盛に行はれたるの

觀あり。是に於てか反動の襲來に對する識者の懸念は愈々加はると共に其警戒の聲は益々高まり、事業當局者の私に警戒を加ふる者も最近漸く加はり來れるの風あり。而して此警戒の聲は當業者の警戒と共に休戰條約の成立以來特に著しく加はり來れり。蓋し經濟界の反動は之に先立つ好景氣の氣運の著大なるに比例して大なるを常とし而して其反動の襲來は好景氣を致せる原因の消滅すると比殆ど時を同ふして發するの常なるより觀れば、休戰條約成立以來頓に我が產業界に警戒の念慮の旺盛となれるも亦自然の勢といふ可きなり。

由來好景氣が物價騰貴の上に其實を現はすと等しく、其反動たる不景氣も亦物價の下落に其實跡を示すを常とす。蓋し好景氣とは當業者の利得増加し其經濟的地位良好と爲るの謂にして、畢竟物價騰貴の形勢持續し其生産又は販賣に従事せる者の利得豫期以上に出づるの結果に外ならざると等しく、不景氣は其反對に當業者の利得豫想以下に減退し若しくは損失を醸すに至り其經濟的地位爲に不良と爲るの謂に外ならず。即ち物價下落し生産又は販賣に従事せる者爲に豫期の利得又は其他の所得を享受する能はざるに至りて此に所謂不景氣の嘆聲を

聞くに至るなり。略言すれば不景氣は物價下落の半面なり。此物價下落と之に伴ふ不景氣とは產業當事者の等しく嫌忌し憂苦する所なれども、好景氣は常に永續するものに非ず。物價騰貴の趨勢正に其絶頂に達すれば此に其反對の趨勢を生じ、不景氣の現出を見るに至るは現經濟組織の下に於ける財界自然の成行にして、好景氣期と不景氣期は例令ば海洋に於ける水面の波動一高一低あるが如く相互連續的に交替して現はるゝの常なり。最近好景氣の風潮愈々進み物價の騰貴益々加はれるに従ひ、世人の一般に將來の不景氣を憂慮する者益々加はれるものは畢竟此事實を経験的に熟知せるが故に外ならざるなり。

今つらく不景氣の由て來る其經過を觀るに、好景氣期繼續し物價益々騰貴するに従ひ、其騰貴は一方に於て其騰貴せる物件の生産業者又は輸入業者の利潤を増加せしめ其利潤の増加は生産の擴張又は輸入の増加を促して自ら其物價騰貴の勢を抑制するの作用を爲すと共に、騰貴せる物價は自ら購買者の範圍を制限して需要増加の勢を減殺せしむるに至るものあり。物價騰貴の此兩面の作用即ち一方に於て供給を増加せしむる作用と他方に於て需要を抑制するの作用とが適

度に止まり、需要と供給の平衡を得せしむるに止まらば所謂不景氣の襲來は之を免るゝを得可しと雖も、現下の經濟組織に於ては統一せる意志の生産及び供給を指揮するものなく、又消費其他の需要を調節するものなきの結果、好景氣の勢に驅られたる企業家の生産擴張、供給増加の計畫は實際の増加せる需要の程度以上に奔逸せざれば止まざるの風あり。而して此供給の増加一度需要の程度以上に奔逸するや、供給の過剰此に起り物價の下落此に初まると共に生産業者は其下落の甚だしからざるに先づ其製品未製品を可及的速に賣却又は賣約して只管其損失を少なからしめんとし、仲間商人亦其所藏品を可及的速に賣却せんと試むると共に、消費者其他の需要者は下落の趨勢を見て敢て購買を急がず、寧ろ延期し得る限りは可及的購入を延期して只管其下落の加はるを待つに至る。其結果供給は一時大に加はるの状を呈すると共に需要は激減するに至り、下落の趨勢をして急激に其勢を加へしむ。好景氣の終期に臨んで産業當事者の最も憂慮する反動的不景氣は多くは正に斯の如くして發生するなり。

然れど不景氣は必ずしも常に斯の如く生産の激増又は輸入の激増等の如き過

度の供給増加のみに依りて起るものに非ず。時としては供給の上に著しき増加なきも戦争又は凶作等の如き不時の事變に基づく需要の激減に依りて突然其端を發することあり。歐洲大戰の當初我が生絲、紡績、織物等の産業の上に現はれたる大不景氣の如き正に其著例なり。併し此場合に於ても前述せる供給増進に基づく不景氣の場合と等しく供給が需要の程度以上に出づるに至りたるの一事に至つては其歸一なり。唯々此場合に於ては供給の過剰が好景氣の反動として來らず、寧ろ他の災厄に基づく需要激減よりして來りたるを特色とするのみ。

何れにもせよ不景氣は供給過剰の結果なり。需要に比して供給の過大より生ずるの現象なり。而して需要と供給の此不權衡は或は生産の増加に出づることあり。或は輸入の激増に基づくことあり。將た或は消費の減退又は通貨緊縮に伴ふ需要の激減に基因することあり。其原因決して一樣ならず。其原因一樣ならざると共に、其實現も亦各産業悉く一樣なるものに非ず。産業の種類に依りて其襲來の時期異なると共に不景氣の程度も亦種々雜多なるを常とす。蓋し等しく供給の過剰といふと雖も、其過剰が各産業上に時を同ふして同様の程度に現は

るゝが如きは想像し得可らざるの事實なればなり。好景氣の發生が産業に依りて時と程度を異にすると等しく、不景氣の發生も將た又不景氣の程度も産業に依りてそれ〴〵趣を異にせり。併し不景氣の發生及び其慘害の程度は産業の種類に依りそれ〴〵區々なりといふと雖も、種々の産業の間には多少の關係なきに非ず。寧ろ其間に密接の關係ありて甲種産業の不景氣が乙種産業に影響を及ぼし此に新に不景氣を醸成して更に之を丙種産業に傳播せしむる不景氣の傳染性は亦好景氣の場合と等しく其間何等異なることなし。蓋し甲種産業の不景氣が其従業者の所得減少を生じ其購買力を減殺して其購買品生産者たる乙種産業の不振を促がし、乙種産業の不振が等しく更に丙種の産業に餘波を及ぼすは一見容易に推知し得可き事實なればなり。然れば一局部産業の不景氣が漸次波及して遂に一般的不景氣と爲るに至るは經濟界常に見る所の現象なれども、之を以て不景氣が必ず同時に全部の産業を襲ふものと爲すの非なるは勿論、縦令ひ時を異にするも同一の程度を以て全部の産業を襲ふものと看做すも亦誤見たるを知る可し。不景氣の襲來は産業に依りて遲速あり、其慘害の程度亦産業に依りて趣を異にす

るを常とす。不景氣に對して末雨綢繆の計を爲さんとする者亦須らく此點に留意し、徒に悲觀に失して狼狽するの愚を戒むると共に、餘りに樂觀に傾きて大失敗に陥るの輕舉を避く可きなり。

二

今斯る見地よりして聽て來ん反動的不景氣の趨勢如何、詳言すれば來る可き反動の先づ如何なる方面に發生し、如何なる方面に於て如何なる程度の不況を醸成して其影響を如何なる方面に波及す可きやを揣摩せんとするに、吾人は先づ最近數年間に於ける物價騰貴の趨勢に遡り、將來に於ける反動の原因たる可き最近の好景氣の性質を明にせざる可らず。近時我國の物價を論ずる者多くは觀察を重要商品一般の總平均に注ぎ、日本銀行の物價平均指數を取りて其一般の騰貴を云爲するの風あり。最近の物價が開戰當時に比して十割十一割を増せりといふは即ち其類にして、此論調より察すれば我物價は一般に異常の騰貴を示し、生産營業者は一般に好景氣の利益に浴しつゝありたるが如き觀なきに非ずと雖も、其所謂る十割十一割の騰貴は五十有餘種の商品の騰貴率を平均せるの數字なり。各

種商品一様に等しく騰貴せるに非ず。中には例令ば洋鐵洋釘洋紙等の如く四十割前後の騰貴を致せる物あると共に其一方には例令ば葺日本酒又は醬油等の如く其騰貴率僅に二三割に過ぎざる物もあるなり。概して云へば下落せる物は全く之を見ることなく一般に騰貴せりと雖も其騰貴の比率は實に千差萬別の狀あり。今一々之を列舉説明するは其煩に堪えず、日本銀行調査の物價指數表を末項に附して讀者の比較對照に之を譲るの外なしと雖も、斯表を基礎として一大藏當局の作成せる附記の圖表は此物價騰貴の性質を明にする上に於て大に資する所あるに似たり。即ち該圖表は重要商品五十餘種を類別して輸入減少の爲め騰貴せる物品、輸出増加の爲め騰貴せる物品、奢侈品、生産補助品及び必要品の五部類に分ち各部類の騰貴の比率を圖表に示して通貨流通高と對照せるものなるが、斯表に據る時は戰爭開始以來直に暴騰して爾來著しく騰貴の趨勢を持續せる物は輸入品にして、輸出品の騰貴は遙に之に後れ當初約一年半の間は却つて開戰當時以下に降り爾餘一般の商品と共に寧ろ不況を呈せり。米麥、綿布等必要品の市價亦之に類し寧ろ其以下に在りて大正六年末迄は實に此五種中最下位を持續し大正

七年に入りて漸く中位に進み同年九月に至りて初て輸出品と平均して輸入品に次げる最大の騰貴を示すに至れり。而して生産補助品と奢侈品とは以上三種の中間に位し大正七年に入りて其騰貴率最下位のものとなれるなり。開戰以來の物價騰貴と之に伴ふ好景氣が各種の産業をそれの上に起れる順序次第と其好景氣の程度亦以て大體を知るに足る可し。

此物價の騰貴がそれの産業に於ける企業家をして生産の増加に盡力せしめ、生産額の増加を致さしめたるは争ふ可らず。正確なる生産統計の以て徴す可きなき我國に於て計數的に其増加の狀勢を示すは不可能事に屬すと雖も、其生産が例令ば米麥其他の農産物の如く主として天候の良惡に依りて左右せらるゝものに非ざる限り、其生産の著しく増加せる次第は殆どあらゆる種類の工業鑛山業の新設擴張日に月に益々多きを加へたる事實、乃至労働者の需要の日に益々加はりて其不足の聲殆ど全國に普ねきの事實よりして之を推斷するに難からざるなり。唯、夫れ生産の増加は斯の如く盛に行はれたりと雖も、輸入の減少又は輸出の増加に基づく國內供給の缺乏は更に一層甚だしきものなり。生産の増加今尙ほ

到底之に企及する能はず、物價は爲に益々漸騰の勢を繼續しつゝありしなり。而して此供給不足に基づく事業の新設擴張は更に生産補助品の需要を加へ其騰貴をも喚起しつゝありし次第なり。然れば彼の好景氣發生以來我國の生産は著しく増加したりといふと雖も、其増加は未だ以て所謂生産過剰を喚起するの程度に達したりといふを得ず。外國に於ける需要と供給今尙ほ昨の如くならしめば惟ふに國內の供給は今尙ほ昨の如く不足し、其騰貴の勢は依然繼續して産業界の好景氣は尙ほ當分持續せるなる可し。唯々生産補助品の大正七年春期以降に於ける需給關係を一瞥すれば其生産或は需要の程度に追及せるに非ざるやを想はしめざるに非ずと雖も、これとて著しき下落の見るなきに徴すれば未だ以て生産過剰に陥れりと見るを得ず。更に爾餘の商品に至りては生産の増加よりして供給過剰、反動的な景氣襲來を見るが如きは到底近き將來に之を期す可くものあらず。従つて若し反動的景氣の近き將來に現はるゝありとせば其原因は多くは生産過剰に在らずして他の方面よりする供給の増加に在るなる可し。

三

此見地よりして之を觀れば休戦に伴ふ經濟的反動の現はる可き方面として先づ第一に着眼す可きは輸入商品即ち主として供給を輸入に仰げる商品の上にある可し。此種の商品は其騰貴率の他に比して著大なりし丈け其反動の著しきものあるを想はしむるのみならず、其供給の不足が主として戦争の必要に基づく外國の輸出制限又は交通の障害に在りし丈け、戦争の停止と共に其制限の緩和せられ其障害の撤去せらるゝも亦之を想像するに難からず。殊に鐵石油等の如く戦争材料として其需要多かりし爲め、我國に對する其輸入の妨害せられし物品に在りては其輸入の戦前の状態に復せらるゝも亦最も早きものと認めざる可らず。此輸入の障害一度緩和又は撤去せらるゝ以上、戦時中に於ける其騰貴率の甚だしきに比例して下落の速度も亦大ならざるを得ざる可し。勿論休戦條約成立すればとて不足勝なりし船腹の供給は急に多きを加へ得るものに非ず。平和克復したればとて外國に於ける生産力直に戦前の状態に復するものに非ざれば、戦争の爲に輸入減少せる商品が直に戦前の輸入状態に復するものと見るを得ず。幾多の商品例令ば硝子板の如きは原産地企業の破壊又は精練労働者の戦没等の事情

の爲に容易に其生産力を恢復するを得ず、従つて其輸入容易に期待するを得ずして戦時の好景氣を戦後に持續するか如きことある可しと雖も、英米等の如き戦禍少なかりし戦勝國を主要産地とせる鐵類洋紙等の輸入品殊に戦争の爲に其生産力の却つて増大し然かも戦争の停止に依りて其製品の用途減少せる鐵類の如きに至りては期年ならずして其輸入供給力の戦前状態に恢復す可きは想像するに難からず。唯々此恢復をして稍々遲滞せしむるものは船腹の不足に基づく運輸上の障害あるのみ。此障害は容易に急速に之を除去し難かる可しと雖も、併し急を要する戦時輸送の著しく緩和せられたると敵國船舶の利用の多少増加せられたるとは戦時中に比し此障害をも著しく緩和せしめざるを得ず。商品の種類に依り多少遲速の差あるは勿論なれども先づ供給の増加して市價の低落を惹起し、此に當業生産者及び商人の利潤を著しく減少せしめ其經濟的地位を困難ならしむるものは、此等輸入商品と競争して其生産に従事する産業の上在る可し。而して此種商品生産者中の或者の上には戦争休止と殆ど時を同ふして先づ不景氣の襲來を見る可きなり。

輸入品産業に次で不景氣の襲來を想はしむるものは輸出品生産業なり。蓋し戦時に際して我國産の特に輸出増加せる者は戦争に必要な所謂軍需材料か若しくは歐洲諸國の輸出能力減少せる其歐隙を補はんが爲に輸出せられたる各種の日用品なるが故に、一朝戦争の終息せる以上軍需材料の需要は終息するものと見ざる可らず、歐洲諸國の輸出亦恢復するものと見ざる可らざればなり。縱令ひ直に戦前状態に復せずとするも我國の海外に贏得たる市場は多少奪還せらるゝものと見ざる可らざればなり。然れど戦時中特に輸出の増加せる商品の各種に就て之を觀れば綿絲小麦粉製茶生糸大豆等何れも特に戦時中に限りて需要せらるゝの商品に非ず。縱令ひ軍需要品としての需要止みたりとするも他の一方に於ける平和的日用品としての需要は又加はる可き性質を有せり。殊に此等の商品に對する歐洲列國の生産力の恢復に至りては多くは僅數の日月を以て之を能くし得可きに非ず。加ふるに戦争に依りて破壊せられたる國內諸設備の復舊と多年窮乏を忍びたる其後に於ける慾望充足の必要とは容易に其輸出能力を戦前の状態に恢復せしめ得可しと信する能はざるなり。況んや、戦時中に醸成され

たる物價騰貴と生活費の昂騰とは容易に其生産費を低下せしむるを得ざる可く、従つて我國企業家の開拓せる新販路を侵蝕するの甚だ容易ならざるものあるに於てをや。觀じ來れば輸出販路の擁塞の爲に内國に供給過剰を惹起するが如き産業は現下の狀勢よりすれば數月乃至一二年の近き將來に多く之を見ることなかる可し。

更に所謂る生産補助品に至りては全く爾餘各種の生産業の消長に伴ひ其需要に消費あるものにして前掲の圖表に就き之を觀るも其騰貴は他の産業生産品殊に輸出品の騰貴に隨從して騰貴し來れるを見る可し。従つて此方面に大不景氣の襲來なき限り甚だしき不景氣は之を免れ得可きが如しと雖も、併前述の如く此種産業の生産は最近十個月以來既に他の生産業の需要に追及して動もすれば其需要以上に奔逸せるに非ざるやを想見せしむるものあり。従つて休戦に伴ひ他の産業に著しき反動なしとするも、其景氣昂進の勢復た從前の如く急なるを得ざるに至らば或は此補助品産業の上に先づ供給過剰の發生を見るなきを保す可らず。吾人は現下の狀勢より推して此方面の産業をば多少危険視せざるを得ずと

雖も、併し多年の物價騰貴に其消費を躊躇しつゝありたる多數の民衆は多少の下落を見る場合に至らば之が購入を敢てするに至る可きが故に、其市價の下落は必ずや甚だしきに至らずして止む可きを推想するなり。

其他所謂る必需品に至りては米麥を初め概ね農業其他の原始生産品にして其供給は今や世界的缺乏の狀態に在り。而して戦争終息したればとて毫も其需要は減す可きに非ず。殊に敵國諸邦の窮乏は聯合國以上に甚だしく屈服的講和は一は其供給を得んが爲に求めらるに至れるの狀ある次第なれば其市價下落は到底近き將來に望む可らず。農家の好景氣は次の收穫の大豊作を示すに至る迄は必ず繼續す可きなり。而して絹裏地其他の所謂る奢侈品に至りては今や我上下一般の消費品にして多數産業の不景氣殊に工業及び農業界の不景氣に多數人民の一般購買力の減退するに至らざる限り復た甚だしき下落を見ることなかる可し。況んや其騰貴率諸商品中の最下位に位して反動を受くるの憂最も少なき狀況に在るに於てをや。又近く其不景氣を見ることなかる可し。

由是觀之主として其供給を輸入に仰ぎ來れる一部商品の産業を除きては急速

に彰著なる反動的な景氣を見るの産業は頗る少なきが如し。唯々其輸入商品の生産者又は商人の上に起る可き反動は頗る急速に且つ其勢大なるものある可しと雖も、此種従業者の数は全國諸産業の上より觀れば一小部分に過ぎざるが故に、其所得亡失、購買減退が爾餘の産業に及ぼす波動的影響も亦直接甚大なるものなる可し。然れど爾餘の産業に於ても、從來の好景氣の持續は復た決して望む可らず。蓋し一方に於て斯る購買力減少の事實の多少なりとも發生せる上に、輸出増加の勢も復た舊の如く日に月に増進するは之を望む可らず。物價既に非常の高度に達して更に騰貴するの餘地頗る少なきを想へば、生産従業者が復た従前の如く豫想以上の利益を收むるの餘地も甚だ少なく、却つて往々豫想の利益すら收むる能はざるの事實益々加はる可ければなり。而して此景氣昂進の勢の停止は思ふに産業界の人心をして多少一般に沈滞せしめずんば止まざる可し。

四

要するに生産の過剩又は輸入の激増等の如き供給の源泉其物より觀れば我が現下の産業界は未だ甚だしく憂ふ可き徵候を見ず、更に消費の減退又は輸出の減

縮等、需要の本源より觀るも等しく近き將來に大に憂ふ可きものあるを認めずと雖も、併し反動的景氣の襲來は單に此等實際の需要又は供給の消長のみに基づくものに非ず。時としては投機の結果として一時に豫想外の反動を示すことあり。景氣の轉換期に當りて最も戒心を要するは此種の原因に基づく反動なる可し。

蓋し景氣の昂進期に於ては生産者及び商人は縦令は冒險的投機精神なしとするも市價の前途に樂觀して敢て賣急ぐの態度なく、手許在荷の多少堆積するも甚だしく之を憂ひざるの風あり。其結果不知不識の間一般に實際上の在荷も潤澤を來たして然かも供給の増加に心付かざるの傾あり。需要者の態度亦之と等しく前途の下落期し難く却つて其騰貴を憂ふるの情強きが故に、必要と認むる物は多少の前途を見越して豫め之を購入貯藏するを辭せざるの傾なきに非ず。供給者及び需要者双方に於ける此心理的作用は實際に在荷の量を潤澤にして然かも常に供給不足の感を抱かしむるものあると同時に、外觀上の此供給不足は其一方に於ける強氣の冒險的投機を促して供給の不足を過度に大ならしむるの狀あるなり。斯くて物價は實際の需要供給の關係より定まる可き程度以上に遙に

昂進せしめらるゝ次第なるが故に、一朝其供給の實際甚だしく不足せるに非ざる次第明瞭と爲り、供給不足の幻想打破さるゝに至る時は従來の投機者流の競ふて其買付商品を處分せんと試むるは勿論、普通の在荷を有する生産者及び商人も争ふて可及的急速に其商品を賣却せんとするに至り、此に供給の一时的輻輳を見る可く、加ふるに斯る際に於ける弱氣の投機者流の活躍は更に其供給をして過大の觀あらしむるものなり。之れと同時に購買者の態度は一變して眼前の所要品の外之を購ふことなく可及的其購入を延期して只管其下落の更に加はるの時を待たんとするに至り、需要の不振をして事實以上に大ならしむるの觀を呈せしむ。而して斯の如く供給激増し、需要激減するの結果は其商品の市價をして甚だしく暴落せしむるに至る。景氣轉換の際に於ける經濟的反應とは畢竟此市價暴落の事實を指稱する次第にして、要するに需要者供給者の双方殊に供給者側に於ける有識的並に無意識的の投機の結果に外ならず。好景氣に於ける其投機の激甚なりしと否とに準じて其強弱にも種々の等差ある次第なれども、其市價下落の急激にして當業者に非常の慘害を蒙らしむるは縦令ひと時的にせよ頗る寒心す可き

ものあるなり。然るに斯る投機は好景氣期には多少免れざるの常にして、現に我が最近の好景氣期に於ても吾人は各種の産業に於て斯る投機の常に行はれつゝありしを認めざるを得ず。従つて此投機に基づく反動は今や休戰條約締結せられ諸方面の景氣一轉せんとするの傾向眼前に迫れるに當り先づ各方面に現はるゝに至るを推想せざるを得ず。要するに此種性質の反動は遠からずして各方面に其實を見るに至る可く、而して其の何れの方面に先づ實現せられ、何れの方面に於て最も強烈なるものある可きやは一に懸つて如上の投機の行動の強弱如何に在るが故に吾人は概括的に之を豫斷するを得ずと雖も、大體の趨勢より云へば市價騰貴の傾向最も著しかりし方面に於て此投機も亦著しかりしの觀あるが故に、其反動も亦此方面に於て最も速に且つ最も大に現はるゝものと推斷するを得可きなり。

さばれ此種の反動的な景氣は其性質上一時的のものなり。一时的の人心動搖に基づき供給過剩又は需要激減の觀を呈せるの結果に過ぎざるが故に、其波動一度靜止し需要と供給其真相を示すに至らば市價亦舊に復し不景氣此に終息する

に至る可き次第なり。實際に供給過剰の事實存せざる以上永續的の景氣沈滞を惹起するが如き虞なかる可しと雖も、併し此一時的反動も其勢激甚にして且つ廣く各方面に時を同ふして發生する時は一時其生産當業者をして甚だしき所得減少又は損失に陥らしめ、其所得減喪は購買力を減殺して更に他の不景氣を喚起し滔々相率ひて一時的局部的の不景氣が遂に一般的繼續的不景氣を誘起するの因となることなきに非ず。恐る可きは此恐慌的波動の波及にして其慘害は全國の産業を不振に陥らしむるの危険あり。當業者及び經濟政策當局者の須らく戒心して一般的狼狽を甚だしからざるに防ぎ、同業者の協力又は信用政策の利用に依りて速に人心の動搖を靜止するの策を施す可き所なる可し。世界の大戰に促されて發生したる我が未前の大好景氣は大戰の終息といふ一大事變に依りて一部産業に發生せる局部的不景氣の爲に其氣勢を殺がれ、動々もすれば一般的景氣沈滞に陥らしめらるゝの危険なきに非ず。未前の大事變に際して人心安定を缺ける昨今吾人は特に産業當局者及び經濟政策當局者の注意戒慎を促さざるを得ざるなり。

五

我が經濟的反應の趨勢は惟ふに此投機の反動に基づく一般的狼狽より來るもの、外甚だしく憂ふ可きものなかる可く、然かも此反動も當業者及び政策當局者の戒慎以て機宜の施設を施すに於ては其惡影響は一時的にして止むるに難からざる可し。甚だしき樂觀は固より期す可らずと雖も、一部悲觀論者の憂慮するが如き外國競争の激甚又は生産過剰に基づく永續的景氣沈滞の發生は近き將來に之を危惧するの要なかる可し。唯々一部突飛的の市價騰貴を致せる産業の上に不景氣の發生を免れざる可きのみ。

其他諸産業全般の上より觀れば通貨及び信用の消長は一般の景氣の趣向に取りて至大の影響なきを得ず。蓋し通貨の緊縮又は信用の緊縮は一般に購買力を減縮し企業の萎縮を喚起するの常なればなり。此點よりして之を觀れば最近に於ける我が通貨流通高の激増と物價の暴騰とは應て輸入の激増を促し通貨の減少を喚起して此に大不景氣を喚起するに至らざるやの懸念なきに非ずと雖も、翻つて海外諸國を觀れば大戰以來何れも通貨の膨脹と物價の騰貴を見ざるなく、其

膨脹及び騰貴の程度は何れも殆んど悉く我國の上に出でたるの狀あり。従つて此等諸國の通貨及び物價の戦前に復するの傾向を示さざる限り通貨關係に基づく輸入の激増も通貨の流出も之を期す可らざるに似たり。然かも戦争開始以來此等諸外國に於ける勞銀の騰貴勞働者の勢力の増加諸物貨の缺乏等に徴すれば急速なる物價の下落は容易に之を期す可らず或は兌換開始の必要上正貨吸收の目的を以て通貨の緊縮物價の下落を策せんとするも各國の國債各數百億圓に上り之が利子と償却の資金を一般國民より徴收するの必要あるに當り通貨の緊縮物價の下落を惹起し企業の萎縮を促して好く其目的を達し得可きや亦頗る疑問たらざるを得ず。所得分配の問題、産業政策の問題より觀察すれば歐米諸國に於ける通貨の緊縮は近き將來に於て容易に實現し得可しとも思はれざるなり。果して然らば此方面より來る戦後の反動は我國に於ては又甚だしく危惧するを要せざるが如し。

此に於てか問題は信用緊縮の傾向如何に存する次第なるが、此點より觀れば景氣抑制の傾向は今や既に蔽ふ可らざるものあり。蓋し好景氣期に於ては縱令ひ

戒慎しつゝも不知不識の間信用の膨脹を致すの傾あるを免れざるに反し、景氣漸く轉換せんとするに際しては、由來警戒的なる銀行業者の態度は信用の緊縮を激成するの傾なきに非ず。適當の時機に於ける信用の緊縮は景氣の驀進を抑制し將來に於ける其反動を輕減せしむるものとして大に歡迎す可きことなれども景氣轉換期に於ける急激なる其緊縮は却つて反動を激成するの危険なきに非ず。經濟界の平穩なる發達の爲に金融業者の微妙なる機宜の作用を必要とする所以にして、最近數年間の好景氣期に於ける我が銀行業者の慎重なる態度は頗る敬重す可きものありしに似たり。眼前に迫れる景氣轉換期に於ける其行動も惟ふに充分慎重なるものある可く、徒に信用を緊縮して一般產業界の不景氣を激成するが如き行動は之を避くるなる可し。無謀なる冒險的企業家より觀れば金融業者の慎重なる態度は景氣轉換期に於て殊に峻嚴冷酷なるの觀ある可く、従つて銀行業者の壓迫に對する非難は近き將來に屢々之を聞くに至る可しと雖も、吾人は既に數十年來の苦き經驗を得たる我が銀行業者が徒に自衛に急なるの餘り甚だしく信用を緊縮して不景氣を激成し結局自縛自縛に陥るが如き愚を爲す可しとは

信ずる能はず。従つて此方面よりする經濟的反動翼成の危險は之を輕視せんと欲するものなり。

觀じ來れば我が產業界の前途には幾多の警戒を要する危險なきに非ずと雖も、其危險は適當なる施設に依りて之を避け得ざるに非ず。従つて吾人は漫然大々の反動の必至を豫想して憂慮逡巡する怯者の態度に贊する能はざると共に狼に前途を樂觀して無謀の突進を敢てする冒險家にも贊成する能はざるなり。事に生産に當るの士それ〴〵に其產業に關する内外の形勢に留意して生産能力の増進に盡力せば遮幾くは甚だしき反動の慘過は之を免るゝを得ん。一般的好景氣の時期は既に經過し去れり。將來は產業に依りてそれ〴〵に景氣不景氣の消長を異にするの時なる可し。(大正七年十二月十五日稿)

東京卸賣物價指數 (明治三十三年十月平均ヲ一〇〇トシ大正二年六月訂正ノ分ヲ掲グ)

品目	大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		大正七年	
	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
米	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
穀物	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

其他ノ食糧品、嗜好品

砂糖	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
製茶	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
鹽	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
味噌	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
醬油	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
日本酒	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
啤酒	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
鶏卵	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
刻菓	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
西洋菓	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平均	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

纖維工業品

生絲	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

